美と芸術のインターンシップにおける教育実績とプログラムの評価

美と芸術のマイスター育成講座には、平成18年度には26名の市民が受講し、そのうち24名が修了した。19年度には市民受講生の数は37名と大幅に増加し、そのうち33名が修了した。合計すると、2年間で、市民受講生数は63名、修了者数は57名となる。コース別の修了者数は、2年間で、芸術理論・支援コースが14名、美術（洋画）コースが5名、美術（日本画）コースが14名、美術（書）コースが7名、構成（構成・総合造形・クラフト）コースが3名、構成（陶芸）コースが6名、構成（ビジュアル）コースが4名、デザイン（情報・プロダクト・環境・建築）コースが4名であった。

美と芸術のインターンシップにおいては、学生が市民の学習を支援した。受講学生は、原則として芸術専門学群3、4年生を対象とし、その数は、平成18年度には21名、19年度には20名、合計41名であった。このうち、単位を取得できた学生は、平成18年度には21名、19年度には18名、合計39名であった。コース別の単位取得学生は、2年間で、芸術理論・支援コースが6名、美術（洋画）コースが7名、美術（日本画）コースが15名、美術（書）コースが1名、構成（陶芸）コースが9名、構成（ビジュアル）コースが1名であった。

学生は、授業の準備やあとかたづけでの教員の手伝い、市民受講生の制作に対する実技指導、市民受講生からの学習面での質問や相談への対応などを行った。また、毎学期、活動報告書を提出した。社会人を相手としたこうした応対は、普段の学生生活では得られない体験であり、市民受講生の学習意欲や発想に学生が啓発されるなどの点で、学生は、新鮮な刺激を受け、市民との交流を通じて学生としての自覚や、欠落しがちな社会性を身につけることができた。学生からの報告書からは、こうした現代GPプログラムへの高い評価が感じられた。

本プログラムの実施にあたっては、芸術学系構成教員の約7割に相当する40名の教員が係わった。

美と芸術のマイスター育成講座／インターンシップ受講者・修了者実績

区分	年度	芸術理論･支援	洋画	日本画	彫塑	書	構成･総合造形･クラフト	陶芸	ビジュアル	情報･プロダクト･環境・建築	合計
市民	H18	7（6）	3（3）	5（5）	0	3（2）	0	3（3）	1（1）	4（4）	26（24）
	H19	9（8）	2（2）	11（9）	*3（0）	5（5）	3（3）	4（3）	3（3）	0	37（33）
	計	16（14）	5（5）	16（14）	3	8（7）	3（3）	7（6）	4（4）	4（4）	63（57）
学生	H18	3（3）	4（4）	6（6）	0	0	0	7（7）	1（1）	0	21（21）
	H19	3（3）	3（3）	11（9）	0	1（1）	0	2（2）	0	0	20（18）
	計	6（6）	7（7）	17（15）	0	1（1）	0	9（9）	1（1）	0	41（39）

注）数値は受講者数、括弧内数値はコース修了市民数および単位取得学生数
*彫塑コース受講生は、他のコースからの聴講のため、受講者数の合計には含まれない。

〈コース名正式名称〉
芸術理論・支援コース
美術（洋画）コース
美術（日本画）コース
美術（彫塑）コース
美術（書）コース
構成（構成・総合造形・クラフト）コース
構成（陶芸）コース
構成（ビジュアル）コース
デザイン（情報・プロダクト・環境・建築）コース